

事業報告書

〔自 平成 22(2010)年 4 月 1 日 至 平成 23(2011)年 3 月 31 日〕

▽ 事業概要

平成 22(2010)年度は、急激に変化する国内外の状況や社会構造の変化、また継続的な低金利時代を視野に入れ、公益財団法人への移行にともない、トヨタ財団の今後の方向性を明確にするため下記の重点実施項目を中心に取り組んだ。

＜重点実施項目＞

- (1) 公益財団法人への移行に伴い、設立の趣旨を踏まえ、変化の激しい現代に対応する「ビジョン」の確立。
- (2) 公募プログラムのこれまで社会へ与えた成果や効果を分析し、今後の日本国内および海外への助成方法について積極的な検討・見直し。
- (3) 効率的な財団運営を実施し、より強固な財政基盤の確立。

I 「ビジョン 2010」の確立

平成 22(2010)年 6 月「ビジョン 2010 よりよい未来を構築するために」を策定した。

「ビジョン 2010」では、新たな局面に直面する現代社会において、“新たなきずな（柔らかなきずな）”を創り出していくことを通して、安心・安全な社会の実現に寄与し、よりよい未来を構築する中長期方針を確立した。

II プログラムの実施状況

- (1) 各プログラムともプロジェクト実施現場における状況確認・シンポジウム等の場を通じて、助成対象者とのコミュニケーションを積極的に行い、より大きな成果につなげる活動を強化した。
- (2) プログラムの見直しにあたっては、「ビジョン 2010 より良い未来を構築するために」を踏まえ、プログラム毎に応募プロジェクトの分析を行い、課題を明確にした上で実施した。

1. 地域社会プログラム

(1) 公募活動

- ① 改定後 3 年目となるプログラムの基本的な考え方や枠組みを継続し、基本テーマ「地域に根ざした仕組みづくり－自立と共生の新たな地域社会をめざして」のもとプロジェクトの公募を実施した。公募期間の延長、公募説明会の充実等により全国から 709 件(前年度比約 14.5%増)の応募があった。
- ② シンポジウム、ワークショップ、プロジェクト実施現場における状況確認を通じ、地域課題の理解と助成プロジェクトのレベルアップをめざした。
- ③ 特定課題「離島助成」の結果のとりまとめ及び、シンポジウムを実施した。

<助成実績>

年度	応募件数	助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)
2010	709	37	120,000	119,980
2009	619	36	120,000	106,560

<助成対象者ワークショップ開催状況>

月/日	開催地	テーマ
4/18	東京	「めざすべき地域社会像の模索 -10年後、50年後の地域社会への道」
5/15	山形	
6/19	倉吉	
3/6	天草	「島から学ぶ地域づくりの知恵～アイデアをアクションへ in 天草～」 (特定課題：離島助成)

<シンポジウム開催状況>

月/日	開催地	テーマ
5/16	高知	「人がつながり地域が動く ～女性を支える高知のチカラ～」
3/7	天草	「島から学ぶ地域づくりの知恵～アイデアをアクションへ in 天草～」 (特定課題：離島助成)

(2)プログラム検討・見直し

2011年度プログラム(2011年9月公募予定)

テーマ： 「人がつながり、地域が動く -新しい地域社会をひらく仕組みづくり」

領域： 「自立をめざす仕組みづくり」

「共生をめざす仕組みづくり」

「人が育つ仕組みづくり」

- ①つながりの構築と、主体的な社会参加の促進(ライフスタイルの変革)という視点で地域のデザインを強調。
- ②課題解決の「仕組み」に反映しにくい領域・分野についても検証し、その領域・分野での積極的な助成を行う。
- ③2008～2010年度の公募状況等の分析から基本的な枠組みは維持する方向で、現在日本社会の課題に対応。
(分析の視点：地域特性(自治体規模、人口密度等)毎の応募数、応募テーマの傾向分析)

2. アジア隣人プログラム

(1) 公募活動

①「アジア隣人ネットワークプログラム」から「アジア隣人プログラム」へ名称を変更して2年目となるプログラムの基本的な考え方や枠組みを継続し、基本テーマ「信頼と協働によるコミュニティ形成を目指して」のもとプロジェクトの公募を実施した。

アジア各地から354件（前年度比約11%増）の応募があった。しかしながら、課題解決を重視するあまり具体性は高いものの、波及効果が限定される応募プロジェクトが散見されたため、採択件数を絞りこんだ。

②プロジェクト実施現場における状況確認を充実させ、助成プロジェクトのレベルアップをめざした。

<助成実績>

年度	応募件数	助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)
2010	354	19 うち外国籍 11	120,000	62,010
2009	313	23 うち外国籍 11	120,000	108,500

(2) プログラム検討・見直し

2011年度プログラム（2011年4月公募開始）

テーマ： 「よりよいアジアの未来を目指して」

領域： 「相互理解の促進と人材育成」

「環境に配慮した持続可能なコミュニティ形成」

「各地域の抱える諸課題に対応する社会制度の構築及び再整備」

①アジアにおける「安心、安全な社会の実現」にむけて貢献できるテーマを設定。

②アジア各地域の課題を公募状況等から分析し、それに沿う形で助成の枠組みを整理。

（分析の視点：地域（東南アジア、南アジア、東アジア）別、テーマ分析）

③複数の国や地域にまたがる課題の解決をめざすプロジェクトを積極的に支援する枠組みを設定。

(3) 特定課題「アジアにおける伝統文書の保存、活用、継承」

伝統文書の保存に特化した枠組みから保存、活用、継承と一貫して実施するプロジェクトを対象とした枠組みへ変更し、公募を実施した。アジア各地から68件（前年度比8%減）の応募があった。6年間の助成実績（2005年に研究助成特定課題として開始、2009年よりアジア隣人プログラム特定課題）の成果や波及効果を検証するため、2011年度は公募を休止し、今後の方向性を検討する。

<助成実績>

年度	応募件数	助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)
2010	68	12 うち外国籍 7	30,000	30,000
2009	73	11 うち外国籍 6	30,000	30,000

3. 研究助成プログラム

(1) 公募活動

- ①基本テーマ「くらしといのちの豊かさをもとめて」のもと「社会」、「文化」、「自然」という3領域を設定して公募を実施し、939件(前年度比21%増)の応募があった。選考にあたって、複数の領域にまたがる案件の評価が高くなる傾向にあった。
- ②プロジェクト実施現場における状況確認を充実させ、助成プロジェクトのレベルアップをめざした。

<助成実績>

年度	応募件数	助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)
2010	939	45 うち外国籍 12	150,000	126,700
2009	734	44 うち外国籍 12	150,000	145,000

(2) プログラム検討・見直し

2011年度プログラム(2011年4月公募開始)

テーマ: 「よりよい未来を築く知の探究」

領域: <カテゴリーA> 共同研究助成

1. 社会的課題の解決に資する実践的な研究
2. 新たな社会の実現に向けた価値創出型の研究

<カテゴリーB> 個人奨励助成

- ①2010年度応募プロジェクトの分析の結果、領域横断的なプロジェクトが多数を占めることから領域を設定せず、研究のプロセスを重視する枠組みを設定。
(分析の視点: 領域(社会、文化、自然)別のテーマ分析、領域横断性を確認)
- ②個人研究また若手の研究者の育成を狙いとする分野を強化。

4. 社会コミュニケーションプログラム

- ①東南アジア国別助成プログラム(1999年~2004年)で助成したプロジェクトの成果公表のための出版助成を実施した。
- ②次年度以降のより積極的なプロジェクト発掘に向けて、プログラム運営についての考え方を整備した。

<助成実績>

年度	助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)
2010	1 うち外国籍 1	20,000	478
2009	1 うち外国籍 0	20,000	3,800

<助成プロジェクト>

『タブーと現実—現代ヴェトナムにおけるレイプ』の出版

グエン・ティ・トゥー・フオン(ヴェトナム・アムステルダム大学社会科学研究所院生)

5. イニシアティブプログラム

SEASREP財団のアジアエンポリウムへ助成を行い、併せて今後のアジア域内での若手研究者育成の方向についてSEASREP財団と協議を行った。

<助成実績>

	助成件数	予算(千円)	助成金額(千円)
イニシアティブプログラム	—	20,000	—
SEASREP	1 うち外国籍1	3,000	2,978

<助成プロジェクト>

東南アジアの学生によるアジア・エンポリウム講座への参加費用 (SEASREP)
マリア・セレナ・I. ジョクノ (フィリピン・SEASREP 財団事務総長)

III 組織基盤の強化

(1) 効率的な組織運営

- ① 公募業務の効率化のためウェブサイトを通じた応募システムを導入した。
- ② 効率的な資金運用を実施し、基本財産の取り崩しなく運営を行った。

(2) 広報の機能の強化・充実

① ウェブサイト

公益法人移行に伴う、より積極的な情報公開・情報発信をめざしウェブサイトの改訂に着手した (2011年7月改訂予定)。

② 広報誌

昨年度に継続して広報誌『JOINT』(年3回)を発行した。8月には、「公益法人移行特集号」を刊行し、当財団のビジョンの周知を図った。

	テーマ	特集
第4号(2010年8月発行)	「よりよい未来へ向けて」	ビジョン2010
第5号(2010年12月発行)	「信頼と協働のアジアへ」	アジア隣人プログラム
第6号(2011年3月発行)	「研究と社会の接点を探る」	研究助成プログラム

IV 助成実績

<2010 年度助成実績>

プログラム	応募件数	助成件数 (うち外国籍)	予算(千円)	助成金(千円)
地域社会プログラム	709	37	120,000	119,980
アジア隣人プログラム	354	19 (11)	120,000	62,010
特定課題「伝統文書」	68	12 (7)	30,000	30,000
研究助成プログラム	939	45 (12)	150,000	126,700
社会コミュニケーションプログラム	—	1 (1)	20,000	478
イニシアティブプログラム	—	0	20,000	0
SEASREP	—	1	3,000	2,978
計	—	115	463,000	342,146

V 会議実績

理事会

第1回理事会〔平成22年6月9日(水)〕

1. 平成21年度(自:平成21年4月1日 至:平成22年3月31日)事業報告(案)及び決算(案)の承認の件
2. 公益財団法人トヨタ財団設立時の投資有価証券の種別について
3. 公益財団法人トヨタ財団平成22年度(自:平成22年4月1日 至:平成23年3月31日)事業計画(案)並びに収支予算(案)について
4. 選考委員選任の件
 - ・地域社会プログラム、アジア隣人プログラム及び同特定課題、研究助成プログラム
5. 諸規程の承認の件
6. 公益財団法人トヨタ財団のビジョン(案)について
7. 第1回評議員会の開催について

報告事項

1. 平成22年度 アジア隣人プログラム及び研究助成プログラム 応募状況について
2. 総務省による旧法人への立入検査(平成22年3月)結果について

第2回理事会〔平成22年6月18日(金)〕

1. 代表理事及び業務執行理事の選任
2. 会長、理事長及び常務理事の選任について
3. 名誉会長及び名誉顧問の選任について
4. 平成22年度 役員報酬金額の承認の件

第3回理事会〔平成22年9月16日(木)〕

1. 平成22年度研究助成プログラム助成対象の決定について
2. 平成22年度アジア隣人プログラム「特定課題」助成対象の決定について
3. 諸規程の承認の件
4. 平成22年度会計監査人監査報酬について
5. 平成22年度アジア隣人プログラム助成対象の決定について

報告事項

1. 会長・理事長・常務理事の職務執行状況について
2. 平成22年度 助成金贈呈式について

第4回理事会〔平成23年1月20日(木)〕

1. 第2回評議員会の日時・場所・目的である事項について

第5回理事会〔平成23年3月25日(金)〕

1. 平成22年度地域社会プログラム助成対象の決定について
2. 平成22年度イニシアティブプログラム助成対象の決定について
3. 平成22年度社会コミュニケーションプログラム助成対象の決定について
4. 新法人設立時の財産種別の変更について
5. 役員報酬金額について
6. 平成23年度(平成23年4月1日～平成24年3月31日)事業計画書(案)及び収支予算書等(案)について
7. 選考委員の選任(増員)について
8. 就業規則の見直しについて

報告事項

1. 会長・理事長・常務理事の職務執行状況について
2. 地域社会プログラム助成金贈呈式について

評議員会

第1回評議員会〔平成22年6月18日(金)〕

1. 平成21年度(自:平成21年4月1日 至:平成22年3月31日)事業報告(案)及び決算(案)の承認の件
2. 公益財団法人トヨタ財団設立時の投資有価証券の財産種別について
3. 役員及び評議員の報酬及び費用に関する規程(案)の承認の件
4. 評議員会運営規程(案)の承認の件
5. 公益財団法人トヨタ財団のビジョン(案)について
6. 役員選任の件

報告事項

1. 公益財団法人トヨタ財団平成22年度(平成22年4月1日～平成23年3月31日)事業計画及び収支予算について
2. 平成22年度 アジア隣人プログラム・研究助成プログラム 応募状況について
3. 総務省による旧法人への立入検査(平成22年3月)結果について

第2回評議員会〔平成23年3月25日(金)〕

1. 新法人設立時の財産種別の変更について

報告事項

1. 平成23年度(自:平成23年4月1日 至:平成24年3月31日)事業計画(案)並びに収支予算(案)について

ビジョン懇話会

		出席者
第5回ビジョン懇話会	平成22年 5月10日(月)	遠山理事長、池端理事、石理事、 末廣理事、山内理事、加藤常務理事
第6回ビジョン懇話会	平成22年 5月25日(火)	遠山理事長、池端理事、石理事、 末廣理事、長尾理事、山内理事、 谷内評議員、加藤常務理事

地域社会プログラム選考委員会

選考準備会	平成22年 12月17日(金)
選考委員会	平成23年 1月17日(月)

アジア隣人プログラム選考委員会

本体選考準備会	平成22年 6月15日(火)
本体選考委員会	平成22年 7月27日(火)
特定課題「アジア周縁部における伝統文書の保存、 活用、継承」選考準備会	平成22年 6月 2日(水)
特定課題「アジア周縁部における伝統文書の保存、 活用、継承」選考委員会	平成22年 7月10日(土)

研究助成プログラム選考委員会

選考準備会	平成22年 6月10日(木)
選考委員会	平成22年 7月22日(木)

助成金贈呈式

地域社会プログラム	平成22年 4月17日(土)	(於アムラックス東京)
アジア隣人プログラム・研究助成プログラム	平成22年 10月13日(水)	(於アムラックス東京)

プログラム会議

第 1 回プログラム会議	平成 22 年 4 月 27 日 (火)
第 2 回プログラム会議	平成 22 年 5 月 26 日 (水)
第 3 回プログラム会議	平成 22 年 6 月 29 日 (火)
第 4 回プログラム会議	平成 22 年 7 月 29 日 (木)
第 5 回プログラム会議	平成 22 年 8 月 31 日 (火)
第 6 回プログラム会議	平成 22 年 9 月 29 日 (水)
第 7 回プログラム会議	平成 22 年 10 月 27 日 (水)
第 8 回プログラム会議	平成 22 年 11 月 25 日 (木)
第 9 回プログラム会議	平成 23 年 1 月 6 日 (木)
第 10 回プログラム会議	平成 23 年 1 月 26 日 (水)
第 11 回プログラム会議	平成 22 年 3 月 30 日 (水)